

災害に対する意識調査～災害意識の向上を目指して～

¹⁾医療法人幸善会前田病院腎センター

²⁾医療法人幸善会天神オーバーナイト透析クリニック

¹⁾○野中愛（のなか あい）、¹⁾平川知子、¹⁾梶原涼子、

¹⁾熊川智恵子、

¹⁾林和歌、¹⁾前田麻木、¹⁾前田篤宏、

¹⁾中島知太郎、¹⁾奥美裕、²⁾前田利朗

【目的】

近年各地で様々な災害が起きている。当院では災害対策として年 2 回透析中の避難訓練を行っているが、非透析日の災害対策や備えについて十分に触れた事がなかった。今回、患者の災害に対する意識調査し災害意識を高めることを目的とした。

【対象】

外来維持透析患者 246 名（男性：187 名、女性：59 名） 平均年齢 69.6 歳

【方法】

外来透析患者を対象に災害に関するアンケートを実施。自分で答えられない方には施設や家族へアンケート記入を依頼した。その結果をもとに災害に関するパンフレットを作成、再度アンケート調査を実施した。

【結果】

災害に対し不安があると答えた方は全体の 66%。配布されたパンフレットを読んだ方は 85%であった。パンフレットを読んで対策を行った方は 32%から 50%、非常時の食事管理が理解できたと答えた方は 24%から 52%。パンフレット配布前後で意識の変化はあまり見られなかった。

【考察】

パンフレットを配布するだけでは災害意識の向上や災害への備えには結び付かなかった。今後は患者ひとりひとりの理解度に合わせたアプローチが重要と考える。

また当院は災害の少ない地域であり、患者やスタッフの災害意識が低い事が要因であると考えられ、今後も継続した災害対策への意識向上に努めていく必要がある。